



城西大学海外教育プログラム
〈長期留学ガイドブック 2017〉

JEAP 2017

Josai Education Abroad Program



城西大学



城西短期大学

〈表紙写真について〉



- ① カモーション・カレッジ(カナダ)
- ② カリフォルニア大学リバーサイド校(アメリカ)
- ③ 東西大学(韓国)

目次	はじめに	3
	1. 留学にあたって	4
	2. 長期留学の種類	5
	3. 海外姉妹校紹介	6
	4. 留学準備	8
	1) 留学に必要な条件	9
	2) 留学手続き	9
	3) JEAP 準備語学講座	10
	4) 提出書類	11
	5) パスポート・ビザ等の準備	11
	6) 留学費用	11
	7) 留学時に持っていくべき物	13
	8) その他	13
	9) 長期留学に向けたスケジュール	14
	5. 単位認定	17
	1) IEP・ESL	17
	2) 正規授業及びエクステンション	17
	3) 単位認定のための提出書類	18
	6. 留学中の学生生活	18
	1) 留学報告書(月報)	18
	2) 海外生活の注意点(危機管理)	19
	3) ESL プログラム	20
	4) 留学中の滞在先	20
	5) カルチャーショック	22
	6) その他	22
	7. 帰国	23
	1) 帰国準備	23
	2) 帰国後の手続き	23
	交換留学生の募集	24
	各種語学検定試験	25

はじめに

本学では、「学問による人間形成」という建学理念を具現化し、国際化時代を生きる感性と能力を持ったグローバル人材を育成するために、1985年に本学独自の海外留学制度としてJEAP=Josai Education Abroad Program(城西大学海外教育プログラム)をスタートし、これまで多くの学生がこのプログラムを利用して留学を実現してきました。

JEAPは、城西大学および城西短期大学に在学しながら、本学の海外姉妹校との間で取り交わされた協定にもとづいて、アメリカのカリフォルニア大学リバーサイド校(UCR)、カナダのカモーン・カレッジ(CC)、セント・メアリーズ大学(SMU)、韓国の東西大学(DSU)、台湾の淡江大学(TKU)、ハンガリーのブダペスト商科大学(BBS)、ポーランドのウッチ大学(LODZ)等に留学(3ヶ月~1年)し、休学・留年せずに本学を卒業することができるのが大きな特長です。

この冊子は、JEAPによる長期留学を希望する学生のために、留学条件・単位認定方法・留学中の生活・帰国後の手続き等について必要な情報をまとめたものです。留学希望者はこの冊子を熟読して本学の留学制度を十分理解し、留学に向けての準備をしてください。

1. 留学にあたって

長期留学を考えるにあたり、考慮すべき点は多数ありますが、特に重要と思われる点について列記しておきます。

1) 城西大学学生としての自覚を持つ

まず、皆さんは「JEAP留学制度により城西大学から派遣された留学生である」ということを忘れないで下さい。留学先では、常に「個人」としてよりも「城西大学から来た留学生」として見られています。長年にわたりJEAPプログラムにより多くの学生を派遣し続けることができているのは、これまで留学した学生達が城西大学の学生としての自覚を常に持って決められた規則を守り、大きな事故もなく留学生活を送ることができたからです。

留学先では城西大学の学生として自覚を持ち、本分を忘れることなく行動してください。

2) 留学の明確な目的意識の確立

海外留学は、肉体的・精神的・財政的な面で大きな負担を強いられます。それだけに留学を情緒的・抽象的にとらえるのではなく、「何のために留学するのか?」という具体的ではっきりした目的意識・動機付けが必要です。留学したいと思うきっかけはどんなものであろうと、自分で留学を決めるとき、自分自身でその目的と将来展望を明確にしておく必要があります。ただ漫然と外国に行くのではなく、自分の目標に向かって、常に自己啓発し、努力することが大切です。留学経験を帰国後にどのように生かして行くかをじっくりと自分に問いかけ、明確にしていきましょう。

○なるべく具体的な目標をたてる

言語や文化の異なる国で、日本にいる時とは勝手の違う生活の中で学業面でも一定の成果をあげていくためには努力が必要です。留学先で辛くなったときも、「この目標を達成する」という強い気持ちがあれば、初志を貫く心の支えになるでしょう。たとえば、「TOEFLまたはTOEICで〇〇〇点をとる」「将来就きたい職業に必要な、この分野のこのレベルの語学力や知識を身につける」といった、なるべく具体的な目標を立てると効果的です。そのためにも、留学希望者は留学前に必ず大学で実施しているTOEICテストを受けてください。自分の英語のレベルを知ることにより、具体的な目標や留学中の勉強計画をたてやすくなります。

○あせらずじっくりと

最初はまだ漫然とした憧れだけという場合もあります。しかし、留学に向けての準備を進めていくうちに自分なりの留学目的が見えてくるはずですよ。あせらずじっくりと考えましょう。

○自分で調べる

留学先の国のことや大学のこと、留学中に住む町のことなど、留学にまつわる様々なものをネットなどで自分でいろいろ調べてみましょう。話を聞くだけでなく自分で調べることにより、留学に対する実感がわいてくるものです。もちろん、わからないことは国際教育センターに気軽に質問に来てください。

また、国際教育センターでは城西大学のホームページに「留学便り」というコーナーを設け、留学中の学生達から届くレポートを掲載しています。「留学便り」は、実際の留学生活の様子を知ることが出来るとともに、留学に必要な情報や体験記が満載ですので、皆さんの情報収集にとっても役立つでしょう。大学HP [国際教育・留学]から確認してください。

2. 長期留学の種類

長期留学には、大きく分けて「私費留学（語学留学）」と「交換留学」の2種類があります。

1) 私費留学（語学留学）

私費留学とは、私費によって本学の海外姉妹校へ3か月から1年間長期留学（語学留学）して主に語学を学ぶプログラムです。（期間は学部により異なります）。留学先で語学力が一定レベルに達した後、キャンパスクラスや専門課程クラスを履修できるプログラム、ビジネス英語を学ぶクラス等を履修できる場合もあります。

なお、私費留学の場合は、本学に在籍しながら留学することになりますので、本学と留学先の両方へ学費等を納める必要があります。

2) 交換留学

交換留学とは、海外姉妹校との協定に基づいて、双方の大学代表として学生を交換してそれぞれの専門分野を学ぶ留学プログラムです。通常1セメスター又は2セメスターの留学をし、留学先の正規の授業を英語（もしくは留学先の母国語）で受講します。そのために、私費留学に比べても高い語学力が必要とされます。

交換留学の場合は本学に規定の授業料を納めることで留学先の授業料及び施設使用料等が免除されることが一般的です。（免除の内容・期間は留学先の交換留学プログラムによって異なります）

3. 海外姉妹校紹介

本学は、世界30カ国の約170の姉妹校とさまざまな交流をしています。その中でも、以下に紹介する大学は特に本学と交流が深く、これまでも多くの本学学生が長期留学をした実績があります。また、先方の受け入れ体制やプログラム内容も充実しており、留学先として特にふさわしいでしょう。

○ カリフォルニア大学リバーサイド校(UCR):アメリカ 【私費留学】

1907年に創立されたUCRは、学生数およそ17,000人を抱える総合大学であり、パークレイを本校とする名門カリフォルニア大学のメンバー校です。元々柑橘類の実験農業用地を利用して作られており、現在においても大学では生物工学、植物学などバイオテクノロジー関係の分野で研修が盛んです。豊かな自然と建物が見事に調和した大変美しい1200エーカーもの広大なキャンパスには、図書館、コンピュータ施設、医療施設、フィットネスセンター、大学寮など数多くの建物が立ち並び、留学生は現地学生と同様にキャンパス施設を利用することができます。多くの留学生を受け入れてきた同校では、アカデミックアドバイザーや生活アドバイザーなどにより留学生に対するケアが行き届いています。また、UCRにはレジデントディレクター(RD)として城西大学又は城西国際大学の教員が駐在し、両学からの留学生のサポートを行っています。レジデントディレクターは、特にUCRと関係の深い、限られた大学のみ駐在が認められているもので、本学はその数少ない大学のうち1校です。UCRでは、レジデントディレクターがいることで、留学中のさまざまな場面で迅速かつ丁寧なサポートが受けられます。

○ ウェスタンミシガン大学(WMU):アメリカ 【私費留学】

ウェスタンミシガン大学は、“U.S. News & World Report’s”誌の年間ランキングにおいて、しばしば全米公立大学 Top 100校に選ばれています。カーネギーファウンデーションがウェスタンミシガン大学を、優れた“研究機関”(大学院レベル)として指定した全米102校の1校に選ばれ、全米で最も優れた大学の1つであるとともに、学生や教授陣の質は、さらに年々高くなっています。広大なキャンパスには、山や谷、池などがあり、その広さは新宿御苑の約7倍(約28,000エーカー)もあります。また、ウォルドルー図書館はその建設費に約36億円が費やされ、250万冊の蔵書があり、1900席のパソコンを完備しています。

○ カモーン・カレッジ(CC):カナダ 【私費留学】

1971年に創立されたCCは、カナダ西海岸で最も大きなコミュニティー・カレッジで、ブリティッシュ・コロンビア州の公立カレッジです。ESL、大学準備コース、準学士課程、大学編入コースの他、アート、ビジネスなどのキャリアプログラムも提供しています。ランズダウンとインターバンの2つの美しいキャンパスで幅広いプログラムを専攻することができ、2つのキャンパスに年間約19,000人の学生が学んでおり、留学生は全体の約8%を占めています。ビジネス・マーケティング、ホテル、レストランなどのコースが人気で、留学生と地元の人との交流によって、自然に英語が学べる環境です。

○ セント・メアリーズ大学(SMU):カナダ 【私費留学】

1802年に設立されたセント・メアリーズ大学は、カナダ最古の歴史を持つ大学の一つで2002年に創立200年を迎えました。セント・メアリーズ大学は、ビジネス・法学・建築学などで世界的にも評価が高く、教授陣の質の高さは国内No.1を誇っています。エンジニアリング課程のディプロマ、大学院課程ではMBA、国際開発、天文学、心理学、女性学など様々な専攻が可能です。環境学、アジア学、犯罪学、国際ビジネス・マネージメント、英語コースなどの専門的なプログラムも開設しています。2006年にはMBAプログラムが、アトランティックカナダにおいて第1位に選ばれ、学部プログラムもカナダ全土において10位にランク付けされています。

○ **東西大学：韓国** 【交換留学】

キリスト教精神の実践を建学理念とし1992年に設立された私立大学で、国際的な競争力をもつグローバルキャンパスを目指しています。経営、土木工学、社会福祉、観光、デジタルコンテンツ、デザイン、スポーツなど18の学部で11,000名の学生が学んでいます。本学とは1999年に学術交流協定を締結し、交換留学制度による学生間の交流が活発に行われています。大学の語学センターである東西語学堂は日本人大学生を対象とした外国語教育や韓国語研修の教育サービスも提供しています。

○ **建陽大学：韓国** 【交換留学】

論山市(創意融合キャンパス)と大田市(メディカルキャンパス)、合わせて50以上の学部・学科・研究科、約8,000人の学生を有する韓国有数の医療系私立大学です。1991年に設立されてから医学薬学看護教育において大きな注目を集めており、国が実施する医療機関評価で2004年と2007年に北海道圏一位に選ばれるなど附属病院も高い評価を得ています。

○ **淡江大学：台湾** 【交換留学】

1950年に創立された「淡江英語専科学校」が母体で私学の最高学府として台湾最古の歴史と、国内屈指の規模と設備を持っています。「国際化」、「情報化」、「未来化」の三大教育理念を掲げ、淡水、台北、蘭陽、サイバーキャンパスと4つのキャンパスを有する国際的な総合大学として発展を遂げています。現在28,000人余りの学生が文学部、理学部、工学部、商管学部、国際研究学部等、8学部で学んでいます。外国語教育に力を入れており、900名を超える外国人留学生在籍しています。また、人気ドラマのロケ地になるほどキャンパスの美しさも有名です。

○ **ブダペスト商科大学(BBS)：ハンガリー** 【交換留学】

ブダペスト商科大学は、前身が1857年に創立され、2000年1月に3つの単科大学が統合して誕生した大学で、世界で2番目に歴史のある商科大学として知られています。ハンガリー国内でもトップクラスの高等教育機関と位置づけられており、約16,000名の学生がビジネス分野と社会科学分野の専門家を目指して学んでいます。また、日本語をはじめとする外国語教育にも非常に熱心です。本学とブダペスト商科大学は、2007年1月に学術交流協定を締結して以来、交換留学や交流プログラムの実施など、ハンガリーの姉妹大学の中でも特に活発に国際交流を行っています。

○ **ウッチ大学(LODZ)：ポーランド** 【交換留学】

ウッチ大学はポーランドを代表する国立大学の一つで、1945年に設立され学生数は38,000人です。国際交流も活発に発展しており、国際学・政治学部内の東洋研究所に日本語の授業もあります。本学とは2012年6月に学術交流協定を締結、交換留学を中心に交流しています。現在80カ国からの留学生たちが、経済学科、情報学科、経営学科などに在籍し、質の高い教育を英語で授業しています。大学は国内2番目の大きな都市であり最大の工業都市であるウッチに位置しています。市内には多数の高等教育機関があり、勉強には最適な環境です。

4. 留学準備

国際教育センターでは、JEAP長期留学希望者に対し、一人ひとりの留学先に合わせてスケジュールリングやカウンセリングを行い、皆さんがスムーズに留学を実現できるようサポートを行います。しかしながら、最も大事なのは自分自身が留学に対する強い意志とスケジュール意識を持ってそれぞれの準備を着実に進めていくことです。

留学を実現するまでには、入念な準備が必要不可欠です。この準備を怠ると、希望に胸をふくらませて出発した留学が、思いもよらない結果となる場合があります。留学生活をより充実したものにし、自分なりの留学成果をあげるためにも、十分な準備をしてください。また、留学に必要な書類等は時間に余裕を持って用意してください。(具体的な留学の準備スケジュールに関しては、14～16ページも参照してください。)

留学準備においては、スケジュールに沿って主に以下の3つの事項を平行して早めに進めていく必要があります。

① 学内関連

- ・JEAP留学に必要な単位の取得(各学部によって異なります)
- ・JEAP留学のための語学力向上、JEAP準備語学講座受講(英語の場合)
- ・学内選考用書類準備～学内選考(学部長／所長面接、教授会)、他

② 留学先関連

- ・留学先への応募書類作成、提出
- ・宿舍／ホームステイの手配、他
- ・授業料等の支払い

③ 大使館(VISA)関連、その他

- ・VISA申請、取得
- ・パスポート取得
- ・エアチケット手配
- ・海外旅行傷害保険加入、他

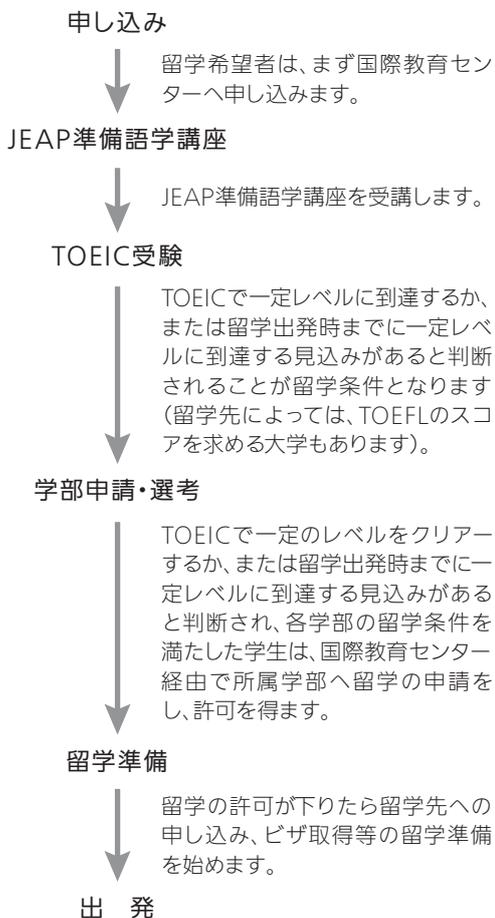
1) 留学に必要な条件

- (1) 本学に1年以上在学するもの(2年生以上)で、必要な単位を取得していること
各学部毎に必要な科目・単位数が決めているので、学生便覧を熟読し、取得単位に誤りのないようしてください。
- (2) TOEICで一定のレベルをクリアするか、または留学出発時までに一定レベルに到達する見込みがあると判断されることが留学条件となります(韓国語圏・中国語圏以外。留学先によっては、TOEFLのスコアを求める大学もあります)。
※私費留学(語学留学)と交換留学では、求められる語学レベルが異なります。
- (3) JEAP準備語学講座の出席率が90%以上であること

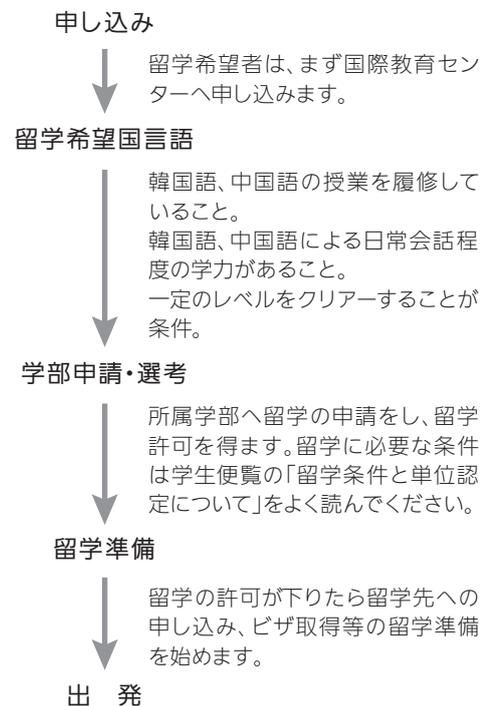
2) 留学手続き

長期留学の申し込みから出発まで

〈韓国語圏・中国語圏以外〉



〈韓国語圏・中国語圏〉



3) JEAP 準備語学講座

この講座は、海外留学を希望する学生のために設けられた、外国人教員による講座です。そのため、少人数で十分に学習できるプログラムが用意されています。JEAP制度による留学を希望する学生はあらかじめ決められた期日までに手続きを行い受講してください。ただし、韓国語圏、中国語圏へ留学を希望する学生は受講は必須ではありません。

講座名と受講日時

講座名	日時
TOEFL Training	木曜 4限
Reading/Writing	木曜 5限
Conversation	火曜 5限

登録方法および受講科目

JEAP準備語学講座の申し込みは、国際教育センター（清光会館4階）で受け付けます。受講申請書に必要な事項を記入し、受講料分の大学証紙を申請書に貼付の上、提出してください。なお、テキスト代は実費負担となります。

●受講料

1科目受講	通年 15,000円	半期 8,000円
2科目受講	通年 27,000円	半期 14,000円
3科目受講	通年 36,000円	半期 20,000円

※JEAP留学希望者でなくても受講できます。

講義内容

■ TOEFL Training（TOEFL 対策）

米国、カナダの大学に留学を希望する外国人学生の英語力を評価するための、客観的な英語能力テストであるTOEFLの受験対策を目的とし、総合的な英語力の発展・強化を目指します。またJEAPの選考基準でもあるTOEICに近いテスト形式であるTOEFLに慣れることで、TOEICのスコアアップも目指します。

■ Reading/Writing（読解・作文）

Readingは、英語の知識を得て、文章の流れから新たな単語の意味を推測し、英語のパターンを理解して、読解力の向上にポイントをおいた授業となります。

Writingは、自己表現をするポイントを教えることに重点を置きます。

■ Conversation（会話）

留学生活において、日常で使われる表現を主体にしてリアルな会話の練習を行います。また、文法・語彙にもポイントをおいた授業となります。

4) 提出書類

TOEICで一定のレベルをクリアしたら、留学希望者は国際教育センターへ下記の書類を提出してください。提出時期については、その都度お知らせします。

- 留学生願書
添付書類: 健康診断書、成績証明書、パスポートの写し、語学レベルを証明する書類等
- 留学先大学の願書
- ホームステイ申込書 ※留学先によって提出書類は異なります。

5) パスポート・ビザ等の準備

留学に必要な条件を満たし、学部の教授会で留学を許可された学生は、パスポートやビザ等の準備に入ります。少しでも不備な点があると、留学できなくなる場合がありますので、不備のないよう注意してください。

(1) パスポート(旅券)の取得について

パスポートは各自で申請し取得します。留学先大学の願書提出、ホームステイ申し込み、ビザの申請をするためにはパスポートが必要となりますので、留学を希望する学生は留学を決めた時点ですぐに取得してください。

(2) 留学ビザ(査証)の取得について

留学が決定したら、ビザ取得の準備を始めます。(取得方法や取得に要する日数等は国により異なります。)

(3) 留学生は、出発届、誓約書を出発までに必ず国際教育センターへ提出してください。

(4) 3年次または4年次に留学する学生は、留学中および帰国後の履修計画等に関してゼミ担当教員および学部事務室と事前によく相談してください。

6) 留学費用

長期留学した場合の留学費用の目安は、下記のとおりです。なお、留学費用は、自分で留学先に支払います。

留学費用一覧 (費用は2017年2月現在であり、変更になる場合があります)

カリフォルニア大学・リバーサイド校(UCR) ※全てアメリカドル		2017年	2018年
授業料 Intensive English Program (INT)	4週間	1,950	1,950
	6週間	2,925	2,925
	10週間(夏期8週間)/ 1 クォーター	3,700	3,700
	30週間 / AYP (※一括払いを条件に900ドルのディスカウント)	10,200	10,200
その他費用	申し込み手数料(最初のクォーターのみ・返金不可)	200	200
	Student Services Fee(セッション毎)	100~300	100~300
	キャンパス保険(週毎)	50	50
	テキスト・教材費など(セッション毎)	100~350	100~350
ホームステイ費用	申し込み手数料(返金不可)	200	200
	1ヶ月	900	900

カモーン・カレッジ(CC) *全てカナダドル		2016秋~17夏	2017秋~18夏
授業料 English as a Second Language (ESL) Programs	4ヶ月 / 1セメスター	5,000	未定
その他費用	申し込み手数料(返金不可)	100	未定
	Camosun Student Society(セメスター毎)	300	未定
	キャンパス保険(セメスター毎)	275	未定
	テキスト・教材費など(セメスター毎)	100	未定
ホームステイ費用	申し込み手数料(返金不可)	225	未定
	1ヶ月(最初の月は返金不可)	850	未定
セント・メアリーズ大学(SMU) *全てカナダドル		2017年	
授業料 English for Personal and Professional Communication (EPPC)	約8週間 / 1セメスター	2,700	
その他費用	申し込み手数料(返金不可)	100	
	アドミニストレーション手数料(セメスター毎)	5	
	キャンパス保険(月毎)	45	
	テキスト・教材費など(セメスター毎)	135	
ホームステイ費用	申し込み手数料 (返金不可・空港からのピックアップサービス含)	275	
	8週間	1,600	
ウエスタンミシガン大学(WMU) *全てアメリカドル		2016秋~17夏	2017秋
授業料 Intensive English Language Program	15週間 / 1セメスター	5,500	未定
その他費用	申し込み手数料(返金不可)	100	未定
	キャンパス保険	約800	未定
	諸学生費(セメスター毎)	270	未定
	テキスト・教材費など(セメスター毎)	約200	未定
大学寮費	15週間(食事込み)	4,663.00	未定
インターネット費用	※キャンパス内の大学寮滞在者のみ	80	未定

留学費用について

各留学先の費用については変更になる可能性がありますので、下記URLにて必ず事前に自分で確認してください。

UCR	http://www.iep.ucr.edu/dates_and_fees.php http://www.iep.ucr.edu/faq/index.php?id=1#answer_3
CC	http://camosun.ca/international/what-it-costs.html http://camosun.ca/international/future-students/housing/homestay.html
SMU	http://www.smu.ca/international/tlc/tlc-registration.html http://smu.ca/webfiles/IEP%20Application.pdf http://www.smu.ca/international/tlc/housing.html
WMU	http://www.wmich.edu/celcis/datescosts http://www.wmich.edu/housing/info/rates

7) 留学時に持っていくべき物

現地でも購入できるものもありますが、文房具、衣類、電気製品、医薬品など、特に必要な物はリストを作り準備をします。日本からパソコンを持参する場合は、インターネットの接続環境やパソコンの規格について前もって調べておき、変圧器などが必要であれば用意をしてください。新たに購入する場合は電圧の違いに対応する仕様のものを選ぶと良いでしょう。

長期留学持ち物 CHECK LIST

<input checked="" type="checkbox"/>	品 名	備 考
<input type="checkbox"/>	パスポート	
<input type="checkbox"/>	パスポートコピー	パスポートとは別に保管しましょう。
<input type="checkbox"/>	証明写真(4.5cm×3.5cm)	万が一の場合、パスポート再発行時に必要。 現地登録の際に必要なこともありますので、多めに持参しましょう。
<input type="checkbox"/>	航空券 E-ticket控え	手荷物に入れておきましょう。
<input type="checkbox"/>	旅行損害保険証	手荷物に入れておきましょう。
<input type="checkbox"/>	現金(クレジットカード)	現地での食費、交通費、宿泊費等のため。 いくつか分散して持ち歩くことをお勧めします。クレジットカードはVISA、MASTERをお勧めします。
<input type="checkbox"/>	筆記用具	
<input type="checkbox"/>	衣 類	現地の気候を渡航前に確認すること。
<input type="checkbox"/>	洗面用具類	
<input type="checkbox"/>	常備薬	風邪薬、胃腸薬、解熱鎮痛薬など持病のある方は英文の処方箋を持参しましょう。
<input type="checkbox"/>	目覚まし時計	
<input type="checkbox"/>	電 卓	レートの計算に便利です。
<input type="checkbox"/>	辞書・会話集	辞書や会話集を活用し積極的に会話をしましょう。
<input type="checkbox"/>	ノートPC	月報や写真を送ったり、レポートを作成する際に必要
<input type="checkbox"/>	靴	履きなれたものを持参しましょう。
<input type="checkbox"/>	タオル	
<input type="checkbox"/>	寝 具	寮の場合は、寝具がない場合もあります。
<input type="checkbox"/>	カメラ	思い出を記録に残しましょう。
<input type="checkbox"/>	変圧器	持参する電化製品の電圧を確認しましょう。
<input type="checkbox"/>	電源変換プラグ	旅先のプラグ形状に合わせた変換プラグが必要となります。
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		

8) その他

(1) 歯の治療

海外は歯の治療がたいへん高額です。留学中に虫歯の治療等をする場合、一時帰国した方が安くなることもあります。留学前に必ず歯医者に行って治療をしてください。また、虫歯がなくても一度歯科検診を受けてください。

(2) 自動車免許証の更新について

留学中に自動車免許証を更新しなければならない場合は期間前更新を行います。詳しくは免許証センターにお問い合わせください。

(3) 独立行政法人日本学生支援機構学資金受給者は留学前に学生課で所定の手続きをしてください。

9) 長期留学に向けたスケジュール (イメージ)

	全 体	8-9月出発*	3-4月出発*
4 月	JEAP留学ガイダンス JEAP準備語学講座前期申込 前期JEAP準備語学講座開始	派遣先大学願書等提出	
5 月 ┆ 6 月	TOEIC® Listening & Reading IP (TOEIC L & RIP) 受験 (学内実施予定)	ビザ取得	交換留学ガイダンス
7 月	前期JEAP準備語学講座終了 TOEIC L & RIP受験 (学内実施予定) 前期末試験		
8 月		最終説明会	
9 月	JEAP準備語学講座後期申込 後期JEAP準備語学講座開始 前期末試験成績発表	出発	国際教育委員会にて留学派遣者の推薦 所属学部選考→留学許可
10 月	TOEIC L & RIP受験 (学内実施予定)		派遣先大学願書等提出
11 月		交換留学ガイダンス	
12 月	TOEIC L & RIP受験 (学内実施予定)		ビザ取得
1 月	後期JEAP準備語学講座終了 学年末試験		
2 月	学年末試験成績発表	国際教育委員会にて留学派遣者の推薦 所属学部選考→留学許可	
3 月 ┆ 4 月	TOEIC L & RIP受験 (学内実施予定)		最終説明会 出発

*出発時期は国・地域、派遣先大学によって異なりますので、上記のスケジュールを参考に、自身の出発の時期に合わせて早目に準備を進める必要があります。

【参考】個人別留学用準備スケジュール表のサンプル

※このスケジュールはサンプルであり、留学の種類(私費/交換)、留学先、留学時期、留学内容等によって各準備項目・内容は異なります。

9月出発『UCR』JEAP長期留学スケジュール&提出書類			
日	付	内 容	
12月	中旬	<input type="checkbox"/> 「JEAP長期留學生登録簿」と「海外長期留学願書」を国際教育センターへ提出	
2月	下旬	<input type="checkbox"/> 所属学部・指導教員に長期留学の相談をしアドバイスを受ける <input type="checkbox"/> 所属学部と渡航時期、渡航期間、単位、帰国後の履修計画等の最終確認	
2月	下旬	<p>【「JEAP長期留学」学内選考書類の準備開始】 ※用意できたものから国際教育センターへ提出</p> <input type="checkbox"/> 1. JEAP長期留學生登録簿(写真貼付) <input type="checkbox"/> 2. 海外留學生願書(写真貼付) <input type="checkbox"/> 3. 成績証明書 <input type="checkbox"/> 4. パスポートのコピー <input type="checkbox"/> 5. 健康診断証明書 <input type="checkbox"/> 6. TOEIC結果票	
4月	上旬	<input type="checkbox"/> 指導教員へ「JEAP長期留学希望者指導教員所見」を依頼(学生→指導教員→IECへ提出)	
	中旬	<input type="checkbox"/> 学内選考用書類の提出完了	
	中旬	<input type="checkbox"/> 国際教育センター所長面接	
	中旬	<p>【UCR Application の準備開始】(学生→国際教育センター)</p> <input type="checkbox"/> 1. UCR Program Application <input type="checkbox"/> 2. Off-Campus Housing(Homestay) Application <input type="checkbox"/> 3. Statement of financial support <input type="checkbox"/> 4. 英文銀行残高証明書 <input type="checkbox"/> 5. パスポートのコピー <input type="checkbox"/> 6. 英文診断書 ※持病がなければ提出不要	
		<p>所属学部の教授会で「JEAP長期留学」学校推薦の審議</p>	
		<p>代理店を通してVISA申請を行う場合 (学生→旅行代理店)</p> <p>旅行代理店へビザ手配の連絡 ※この段階である程度の出発日・帰国日を決め、旅行代理店へ航空券の見積りを依頼。</p>	
		<p>学生本人がVISA申請を行う場合</p> <p>(UCRからI-20原本が国際教育センターへ届き次第、次のステップへ移れるように早めに準備)</p>	
		<p>ビザ申請に必要な書類の準備開始</p> <input type="checkbox"/> 1. DS-160オンライン申請書の作成 <input type="checkbox"/> 2. ビザ申請料を円建てで支払い <input type="checkbox"/> 3. SEVIS費の支払い <input type="checkbox"/> 4. ビザ面接の予約 <input type="checkbox"/> 5. 面接予約確認書 <input type="checkbox"/> 6. 英文在籍証明書 <input type="checkbox"/> 7. カラー証明写真 <input type="checkbox"/> 8. I-20の原本に署名 <input type="checkbox"/> 9. 戸籍抄本(原本と英訳を用意) ※支弁者が本人以外の場合	
		<p>重 要 「ビザ申請必要書類」と「ビザ申請方法」の最新情報を各自下記URL等で確認!</p> <p>●米国ビザ申請/学生ビザ必要書類 http://www.ustraveldocs.com/jp_jp/jp-niv-typefandm.asp</p>	
		<p><input type="checkbox"/> 大学より「留学許可」が下りる</p>	
下旬			<input type="checkbox"/> 大学より「留学許可」が下りる

日 付		内 容
5 月	中 旬	<input type="checkbox"/> UCRへApplication 提出 (国際教育センター → UCR)
6 月	上 旬	<input type="checkbox"/> 海外留学保険説明会 (大学指定の海外留学保険加入)
	中 旬	【UCRから書類を受領】 (UCR→国際教育センター→学生) <input type="checkbox"/> Acceptance letter <input type="checkbox"/> I-20 <input type="checkbox"/> F-1 Visaについての案内 <input type="checkbox"/> 支払い方法についての案内 <input type="checkbox"/> 請求書 (授業料・保険・Student Services fee) <input type="checkbox"/> Airport Pick-up Request
7 月	上 旬	【ビザ面接】 U.S. Embassy in Tokyo 1-10-5 Akasaka Minato-ku, 必要書類: <input type="checkbox"/> 1. パスポート (プログラム終了後6ヶ月以上有効期限があるものと過去10年間に発行されたもの) <input type="checkbox"/> 2. DS-160確認ページ <input type="checkbox"/> 3. カラー証明写真 <input type="checkbox"/> 4. 面接予約確認書 <input type="checkbox"/> 5. I-20 <input type="checkbox"/> 6. I-901 (SEVIS費確認書 \$200) <input type="checkbox"/> 7. 英文銀行残高証明書 <input type="checkbox"/> 8. 戸籍謄本 (原本&英訳) ※支弁者が本人以外の場合 <input type="checkbox"/> 9. 英文在籍証明書 <input type="checkbox"/> 10. クリアファイル
	中 旬	<input type="checkbox"/> ビザ取得 (面接後、おおよそ6日後に発給→郵送で受領)
	中 旬	<input type="checkbox"/> 航空券手配 <input type="checkbox"/> 海外留学保険加入
8 月	下 旬	<input type="checkbox"/> 保護者説明会 (保険証書お渡し)
9 月	上 旬	<input type="checkbox"/> 前期分学費 (授業料・保険・student service fee等) の支払い
	上 旬	【渡航前書類の提出】 (学生→国際教育センター) <input type="checkbox"/> 「誓約書」と「出発届」の提出
	下 旬	<input type="checkbox"/> 渡航 (パスポートとI-20は絶対に忘れない事!) <input type="checkbox"/> Homestay費用の支払い
	下 旬	<input type="checkbox"/> オリエンテーション・Assessment test 等
	9/27	授業開始
留 学 期 間 中	月 初	<input type="checkbox"/> 留学報告書の提出 (報告書+写真2枚) → 国際教育センターへメールに添付し送付
	下 旬	<input type="checkbox"/> ホームステイfeeの支払い
	不定期	<input type="checkbox"/> 城西大学ホームページ「留学便り」用記事の提出 (レポート+写真2枚) → 国際教育センターへメールに添付して送付
12 月	上 旬	<input type="checkbox"/> 後期分授業料・キャンパス保険等の支払い
翌年3月	中 旬	プログラム終了→1週間以内に帰国

5. 単位認定

海外姉妹校で履修し取得した単位の認定は、留学中の学業の評価として最も重要です。それぞれの大学で授業に出席して一定の成果を修めたときは、本学の卒業に必要な科目の中でその成果を考慮することがあります。単位認定においてその成果を考慮するかどうかの判断は科目担当教員が行い、各学部の教授会で決定します。従って、履修すれば必ず単位互換されるわけではありません。また、留学してからあわてないよう、予め留学前に科目や単位について所属学部事務室と相談し、留学中の学習計画をしっかりと立てておきましょう。単位互換できる科目かどうか確認したい場合は、早めに問い合わせるようにしてください。また、各学部により条件が異なりますので、学生便覧を熟読してください。

■現代政策学部・経済学部・経営学部・理学部

IEP(Intensive English Program)またはESL(English as a Second Language)において、一定の成果を修めたと認められたとき認定される科目は各学部により異なります。詳しくは各学部事務室で確認してください。その他、それぞれの大学の正規授業及びエクステンション等の授業を履修し一定の成果を修め、本学部の卒業に必要な科目の中で単位互換できると認められた場合、最大30単位(IEP,ESLでの認定を含む)を限度とし単位認定することができます。

■薬学部

薬学部学生の長期留学については、海外姉妹校に薬学部が少ないこと及び学生実験・病院実習において問題点があるため、基本的に難しい状況となっています。

■短期大学

IEPおよびESLにおいて一定の成果を修めたときには海外英語研修でその効果を考慮します。その他留学先大学の正規授業及びエクステンション等の授業を履修し一定の成果を修め、短期大学の卒業に必要な科目の中で単位互換できると認められた場合、最大15単位(IEP,ESLでの認定を含む)を限度とし単位認定することができます。

1) IEP・ESL

JEAP私費留学生はそれぞれの留学先大学でIEPまたはESLの授業を受講します。クラス編成は英語のレベルチェックによって行われ、レベル別クラスに分かれ、それぞれのレベルにあった授業が少人数のクラスで行われます。レベルチェックテストにより思ったより低いクラスに入ってしまったとしても、基礎から学習しなおすことで大きな効果を出せる場合もあります。あせらずじっくり学習することが大切です。

2) 正規授業及びエクステンション

JEAP私費留学では、IEPおよびESLにおいて所定のレベルに達すると、それぞれの大学の正規授業及びエクステンション等の授業を履修する事が可能になります。なお、JEAP交換留学では正規授業を履修します。これらの授業を履修し一定の成果を修めることで、各学部の卒業に必要な科目の中で単位として認定することができます。履修可能な授業に関しては留学先の大学によって異なりますので、お問い合わせください。

※単位認定は所属学部の判断になりますので、実際に認定可能かは所属学部事務室にお問い合わせください

3) 単位認定のための提出書類

帰国後、単位を認定してもらうための手続きに必要な書類は下記のとおりです。成績証明書等は、帰国時に必ず持って帰ってきてください。また、帰国時に間に合わない場合は留学先大学に航空便(EMS)で郵送してもらう手続きをしてきてください。手続きを行わず成績が送られてこなかった場合は単位の認定はされません。ただし、IEPおよびESL受講により認定される単位については、申請の必要はありません。

○単位認定願(学部事務室にあります)

○履修した科目の成績証明書(単位数及び成績表示)

○授業担当教官が発行する証明書(授業時間数及び出席時間の表示)

○履修した科目の資料及び授業で使用した教科書・コピー・ノート等

※郵送等の手続きをする時には申請控えに担当者のサインをもらって成績が届くまで大事に保管しておいてください

※ 詳しくは所属学部事務室にお問い合わせください

6. 留学中の学生生活

期待と不安に胸をときめかせて日本を出発しても、実際に留学生活が始まると、言葉や生活習慣・環境の違い、頭で理解していても実際に言葉で表すことの難しさなど、様々な場面で現実の厳しさが身にしみると思います。これらは留学をする上で避けて通れないことですが、それらを一つ一つクリアすることにより、語学力だけでなく、異文化や多様性に対する理解力や国際的な視野が身についていくものであり、それこそが留学の醍醐味と言えるものです。あせらず着実に力をつけていきましょう。

また、留学中の学生生活の中心はなんといっても学業ですが、授業だけでなく、ホームステイや友達付き合いなどを含めて、留学中にしかできないことをできるだけ多く経験しましょう。

1) 留学報告書(月報)他の提出

JEAP長期留学生は、留学中「JEAP留学報告書」(月報)を毎月初に国際教育センターに提出することが義務付けられています。

留学生の本分は、何と言ってもまず勉強であり、留学期間中に語学力や専門分野の知識を高めることが何よりも重要です。

ところが、具体的な目標を掲げて留学をスタートさせても、時間が経過するにつれて次第にモチベーションが下がり、いつの間にか自分の目標さえ見失ってしまい、漫然と留学期間を過ごしてしまうことがあります。

このようなことにならないためにも、必ず報告書を毎月提出してください。報告書を記入する際は、月ごとに自分の目標を振り返り、何をどこまで達成できたのか、どんな成果があったか、そして何が足りなかったのかをなるべく具体的に記入するようにしてください。そうすることにより、客観的に自分の毎日を見直して、翌月以降に新たな気持で取り組む事ができるようになります。

もちろん、勉強以外の活動(キャンパスライフや友人・ホストファミリーとのコミュニケーション、留学生活での新たな発見や経験など)も積極的に記入してください。それらの活動の写真データも2,3枚添付するようにしてください。

なお、毎月の報告書は、国際教育センターだけでなく、各学部長や担当教員等に回覧され、それぞれの立場で皆さんの留学生生活をサポートする際の材料にします。

それ以外にも大学ホームページ「留学便り」コーナー用(4ページ ○自分で調べる参照)のレポートの提出依頼にもご協力ください。

また、JEAP留学生として、留学中及び帰国後もJEAPに関わるイベント等に可能な限り参加し、JEAP発展に協力してください。また、JEAP留学パンフレット等で紹介するための、留学中の写真提供やインタビュー取材等にもぜひご協力ください。

2) 海外生活の注意点(危機管理)

(1) 留学中は各自が常に「自分の身は自分で守る」というセルフガードの気持ちを忘れず、万が一の事故や災害、暴動、テロ、犯罪に対する注意を怠らないことが大切です。特に生活に慣れた頃が一番危険ですので、交通事故・盗難・その他各自が十分注意してください。特に注意すべき点は次のとおりです。

- ・多額の現金を持ち歩かないようにし、なるべくキャッシュカード(デビットカード)、クレジットカードを使うこと。
- ・パスポート・航空券・保険証は紛失しないよう各自十分気をつけること。
- ・パスポート番号・保険証番号等は控え(コピー)を取っておくこと。
- ・車を駐車するときは、ドアをしっかりロックして貴重品は車の中に置かないこと。
- ・夜間一人で出歩かないこと。常に複数で歩くこと。

(2) 万が一の場合に備えて留学先の警察・消防・救急の電話番号や病院、大使館などの連絡先や所在地も確認してください。

(3) 在留届について

旅券法第16条の規定により、海外に3ヶ月以上滞在する日本人は、現地の日本国大使館または領事館に「在留届」を提出するよう義務付けられています。

現地での滞在先が定まったら、右記のURLから登録をしてください。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/>

なお、地域別には以下の安全情報も参考にしてください。

(外務省海外安全ホームページ <http://www.anzen.mofa.go.jp/> 等の情報を元に記しています。)

○ 北米

UCRのあるリバーサイドはアメリカの他の大都市から比べると比較的安全な場所ですが、時と場所によっては危険性があります。交通手段としてバス等を利用することは好ましくありませんので、慣れないうちは不自由さを感じることもあるでしょう。

WMUのあるカラマズーはミシガン州第5の都市で、“Money Magazine”誌では全米中西部の中都市の住みやすい街の上位にランクされるほどですが、リバーサイド同様に危険な場所もあるという認識を持ってください。

CCおよびSMUのあるカナダは一般的に治安のよい国と言われていますが、犯罪発生率は日本の約5倍の水準となっています。日本人の渡航者、滞在者が犯罪に巻き込まれる事案も発生していますので、留学中は各自が常にセルフガードの気持ちを忘れないでください。

○ 東アジア

韓国や台湾の治安情勢及び一般治安情勢は世界的に見て比較的安定しています。しかし、在韓国日本大使館によると、韓国では「殺人・強姦・窃盗等の凶悪犯罪が増加傾向にある」、「病気・ケガ・交通事故等の事案が多く報告されています。また、台湾ではひったくり、スリ、置き引き等日本人にとって巻き込まれる可能性が高い犯罪やメーターの操作や遠回りなど、タクシー利用時のトラブルが多発していると報告されています。したがって、安全といわれている国であっても、自分が海外に滞在しているということを十分に認識し、日頃から十分に注意をしてください。

○ 中央ヨーロッパ

ハンガリーを治安の面から見れば、大規模テロリズムや暴動、クーデター等の危険性は他国に比べ低いといえますが、一般犯罪については、現実に毎年多数の旅行者や在留邦人が、スリや置き引きをはじめとする犯罪被害に遭っています。

ポーランドは日本に比べて犯罪発生率が高いものの、欧米主要国と比較して著しく高いという状況にはありません。日本人が普通に生活する範囲内で、生命の危険を感じることは極めてまれですがスリ、置き引き、空き巣等、金銭の搾取を目的とした犯罪被害に遭うケースは依然として多くみられます。

3) ESL プログラム

(1) 遅刻・欠席

このプログラムの第一目的は、語学力の向上であり、そのためにも学生は授業に出席しなければなりません。欠席が多くクラスをパスできなかった場合、留学期間中でも帰国することになります。また、いかなる理由(病気・通院・カウンセリング・その他)においても、公欠扱いはなく、すべて欠席となります。

※実際の欠席時間が記録と異なることがありますので、自分の欠席時間数をしっかり記録しておいてください。

(2) クラス編成

最初のクラス編成はレベルチェックテスト(プレイスメントテスト)によって行われます。

(3) 成績・評価

成績は、クラスでの成果のみを基準としています。しかし、各クラスの授業態度も各講師によって評価されます。クラスでは、英語以外での会話は許されません。どれだけクラスで話そうと努力したか、学習への取り組みや他の学生との協調性も評価の対象となるからです。できるだけ積極的に英語を話すよう心がけてください。

4) 留学中の滞在先

○ 私費(語学)留学

私費留学の場合は原則ホームステイとなります。アメリカ人やカナダ人の家族と暮らすことは、それ自体貴重な体験であるとともに、楽しみでもあります。ホームステイの意義は、皆さんが家族の一員となり、一緒に生活することによってお互いの文化について理解を深め、国際人としての基礎を身につけることにあります。また、ホームステイを決定する上で、人種・宗教等の理由により断ることは禁じられています。皆さんが、テレビや映画を通じてイメージしているアメリカやカナダの家族とは異なることもありますが、それが現実です。

各姉妹校では、皆さんが提出するホームステイ申込書の情報を基に、皆さんにあったホームステイを斡旋するよう努めてくれます。時として希望に合わないような場合もありますが、ホストファミリーと楽しい時を過ごせるよう、努力しましょう。何か問題や心配事があれば、レジデント・ダイレクターや担当のスタッフにすぐに相談してください。

また、どうしてもホストファミリーとうまくいかず、ホームステイ先を変更する必要がある時は、必ず事前に国際教育センターに相談してください。

(1) ホームステイの一般的なルールについて

皆さんはお客様ではありません。家族の一員としてその家族の生活のルールを守ることが必要です。一般的なルールについては次のとおりですが、あまり気を使いすぎると疲れてしまいます。気を使いすぎず適度にリラックスして過ごすことが、ホームステイのコツです。

●自己主張について

アメリカやカナダでは子供の時から自立することを教えられます。何事に対しても自分の意見をしっかり持ち嫌な事ははっきりノーと言います。日本式遠慮は通じません。積極的に自己アピールを心がけてください。気をつけなければいけないのは自己主張とわがままの違いです。理由もなくただ嫌だというのではなく、なぜ嫌なのかノーと言うときは理由もしっかり言えるようにしましょう。

●家族への連絡について

夕食に遅れたり、友人と外出する場合は、必ず連絡してください。ホストファミリーが心配して警察に届け出る場合があります。門限は大体夜8時くらいのご家庭が多いでしょう。

●電話をかける時

使用前にホストファミリーへ一言断ってください。特に、国際電話の場合は必ず許可を得た上で、コレクトコールかTime & Charge(通話終了時にオペレーターが料金を言うのでその場でホストファミリーに支払う)でかけるようにしてください。電話料金のトラブルを避けるためあらかじめホストファミリーと相談しておくとい良いでしょう。

●食事について

嫌いな食べ物は事前にはっきりと伝えておいてください。一般的に日本より質素な食事のご家庭が多いと思ってください。

他にもいろいろありますが、一番大切なことは、家族の一員としてその家族に溶けこんでいくことです。英語があまり上手く話せないからといって自分の部屋に閉じこもっていたのでは、いつまでたっても楽しい時間を過ごすことはできません。できる限りリビングや家族のいるところで過ごすようにしましょう。

(2) ホームステイ費について

ホームステイ費は毎月ホストファミリーに直接支払ってください。

○ 交換留学

交換留学生は、原則派遣先大学の学生用宿舎又は学生用アパートに滞在します。留学先によって内容が異なりますので、宿舎の内容や費用負担等については、事前に十分確認してください。

緊急の際は宿舎・アパートの管理人または派遣先大学の交換留学生受入れ担当者へ連絡してください。その際、必要に応じて国際教育センターへも電話又はメールで連絡をください。

5) カルチャーショック

「カルチャーショック」という言葉を聞いたことがあると思いますが、これは外国の異なった文化の中で初めて生活するとき、言葉や習慣など、今まで自分の国の文化で培ってきたもの全てが通用しなくなることに對して起こるパニック状態を指します。たとえば、今まで正しいと信じてきたものが、別の文化では受け入れがたいと否定された場合、混乱したり、孤立したり、日本の考え方が正しく、その文化の考え方がおかしいと批判するかもしれません。

カルチャーショックは体の調子にも現れます。疲労感が抜けなかったり、怒りっぽくなったり、憂鬱な気分になったり、食欲不振や睡眠不足など様々な症状が現れます。

ここで大切なことは、こうした症状は異文化適応の一つの過程だということ、自分だけが感じるものではないということ、滞在期間中に何回かカルチャーショックを感じる波があることを認識しておくことです。見るもの聞くもの全てが新鮮な時期を過ぎると、だんだん周囲の人に反発を感じたりすることがあります。しかし、そうした問題は次第に解決され、現地の生活に慣れていくことが多いのです。その後、再び複雑な問題が起き、落ち込むなどということを繰り返すことでしょう。そのような症状に気づいたら、レジデント・ダイレクター(UCRの場合)や留学中の窓口スタッフ、友達に遠慮なく相談してください。一人で抱え込むことが一番よくありません。

こうしたカルチャーショックは大なり小なり起こるものです。その時に、自分なりに乗り越えることができれば、多様性を受け入れ、日本と外国の長所・短所を冷静に比較できる目を持つことができるでしょう。

6) その他

(1) 旅行について

留学期間中に一泊以上の個人もしくはグループ旅行を計画する場合は、JEAP個人旅行届を事前に提出し、許可を得なければなりません。

(2) 一時帰国について

個人的な理由により一時帰国しなければならない場合は、JEAP一時帰国届を事前に提出し、許可を得なければなりません。

(3) ホームステイ/宿泊先変更について

何らかの事情でやむを得ず滞在先を変更する場合は、新しい滞在先が決まり次第速やかにホームステイ変更届/宿泊先変更届を提出しなければなりません。

7. 帰国

JEAPではプログラムの終了後1週間以内にすみやかに帰国しなければなりません。帰国にあたってなすべき事はたくさんありますが、不備のないよう十分気をつけてください。

1) 帰国準備

(1) 帰国日の設定

必要に応じて留学先、所属学部事務室、国際教育センター等と相談の上帰国日を決定してください。

(2) 航空券の予約(変更)

帰国日が決定したら、航空便の予約(変更)をしなければなりません。予約はシーズンにより大変混雑しますので、早めに手配をしてください。国際教育センターでもサポートをいたします。

(3) その他

電話料金等ホストファミリーへの精算は、必ず帰国前までに完了してください。また、単位認定に必要な資料等(P.17~18「単位認定」参照)は、帰国時に必ず持ち帰るよう気をつけてください。帰国日に間に合わない場合は留学先の担当者に航空便(EMS)で郵送してもらうよう手続きをしてください。資料等を船便で送ったり、成績の郵送手続きをしてこなかったりした場合は、単位は認定されません。

2) 帰国後の手続き

帰国後は、次の手続きを速やかに行ってください。

(1) 所属学部事務室への手続き

- ・ 帰国の報告
- ・ 単位認定にかかる書類(P.17~18「単位認定」参照)の提出
- ・ 帰国後の履修についての指導
- ・ その他、必要に応じて事務室に相談する

(2) 国際教育センターへの手続き

帰国の報告を行うとともに、JEAP留学修了届を1週間以内に提出してください。

(3) その他、帰国後の手続きについては、大学からの指示に従ってください。

2018年度 交換留学生の募集について

2018年度交換留学生を下記の通り募集いたします。この制度では、城西大学に所定の授業料を納めることにより、留学先大学への授業料を免除されます。また、留学中に取得した科目が本学の卒業単位に認定できる制度により、4年間(院生2年間)で卒業することが可能です。

【応募資格】

全コース共通

- 本学に**1年以上在学した学生**で、本学の学業成績および学習態度が優秀な者
- 留学先国の文化や歴史等の学習に意欲的で、日本の文化や歴史等の紹介を積極的に行う意思のある者
- 留学前に決められた単位数を習得している者

※取得単位数はJEAP長期留学に準ずる(学生便覧参照)

主な留学先の応募資格・募集人数・期間

留 学 先	国 名	人 数	派遣期間	応募資格
淡江大学 (Tamkang University, TKU)	台 湾	5名	9月又は2月 5ヵ月-1年間	中国語の授業を履修していること 日常会話程度の学力があること
東西大学 (Dongseo University, DSU)	韓 国	5名	3月又は8月 5ヵ月間	韓国語の授業を履修していること 日常会話程度の学力があること
建陽大学 (Konyang University)	韓 国	3名	3月又は8月 6ヶ月-1年間	韓国語の授業を履修していること 韓国語能力試験(TOPIC)3級以上
大連理工大学管理学院 (School of Management of Dalian University of Technology, DTU)	中 国	5名	9月又は2月 1年間	対象:経営学研究科院生(JMBAプログラム) 中国語による授業に支障がない中国語能力が あること
ブダペスト商科大学 (Budapest Business School)	ハンガリー	数名	9月又は2月 5ヵ月-10ヵ月	英語力:B2 level(TOEIC® 700点以上) (Common European Framework Reference)
ウッチ大学 (University of Lodz)	ポーランド	数名	9月又は2月 5ヵ月-10ヵ月	英語力:B2 level(TOEIC® 700点以上) (Common European Framework Reference)

※上記以外の海外姉妹校に交換留学を希望する者は、国際教育センターに相談に来てください。

【選考方法】 書類審査の後、面接選考のうえ決定する

【申請書類】 所定申請用紙・指導教員推薦書・成績証明書(成績通知書可)・健康診断書・志願理由および学習計画を各800字程度(学籍番号・氏名を記載すること)

【募集期間】 日程の詳細は後日お知らせいたします

※留学先によって締切日が異なります。希望者は早めに国際教育センターまでお問い合わせ下さい。

【費用等】 <留学先によって異なります>

大学負担分:留学先大学授業料および施設設備費

本人負担分:渡航費・渡航手続きによる雑費・保険・宿泊費・食費等滞在中の生活費など

各種語学検定試験

1. TOEFL®

韓国語圏・中国語圏以外の大学に正規留学をする際に自身の英語力を示すために受験するテストです。TOEFLには①TOEFL iBT®(Internet-Based Testing)と②TOEFL ITP®(Institutional Testing Program)の2種類があります。

①TOEFL iBT®(インターネット版テスト)

<構成セクション> a. Listening b. Reading c. Writing d. Speaking

4セクション(読む・聴く・書く・話す)で測定。スコアは、0~120(各セクション0~30)で、より実社会に近い状況を想定した問題が出題されます。

※②TOEFL ITP®については説明を省略します。

【問い合わせ先】 TOEFL iBT®
CIEE (TOEFL iBT® Resource Center/日本)
TEL:03-5467-5477
URL:<http://www.cieej.or.jp>

【関連URL】 TOEFL iBT®公式サイト:<https://www.ets.org/jp/toefl/ibt/about/>

2. IELTS

英語を母国語としない者で、イギリス、オーストラリア、ニュージーランドの高等教育機関への留学の際にスコア提出を求められる英語力判定テストで、TOEFLと並ぶ代表的な留学生向け英語力判定テストと称されています。最近では、IELTSスコアを受入条件にしているアメリカの教育機関が増加してきています。テストは、Listening、Speaking、Reading、Writingの4要素で構成され、ListeningとSpeakingは共通問題で、ReadingとWritingについては受験者が①アカデミックモジュールと②ジェネラルモジュールを選択します。

【問い合わせ先】 公益財団法人日本英語検定協会IELTS東京テストセンター(JP500)
TEL:03-3266-6852
E-mail:exams@britishcouncil.or.jp
URL:<http://www.eiken.or.jp/ielts/contact/>

【関連URL】 IELTS公式サイト(英語):<http://www.ielts.org/>

3. 韓国語能力試験

韓国語を母語としない人を対象に、日本を含む世界24カ国で毎年ほぼ同時期に実施されています。韓国語の効果的な学習方法の提示から成果の測定、あるいは韓国内の大学・企業・公共機関などへの留学・就業に際しての活用を目的としております。クラス別の合否判定は韓国政府(教育人的資源部)による公式認定となります。

テストは、年1回(毎年6~7月頃)の実施で、語彙・文法、書き取り(作文を含む)、聞き取り、読解が出題され、受験級は1級(初級)~6級(上級)が設定されています。

【問い合わせ先】 公益財団法人韓国教育財団
TEL:03-5419-9171
E-mail:topik@kref.or.jp
URL:<http://www.kref.or.jp/examination>

4. 中国語検定試験

日本で受験できる中国語能力判定試験のうち、最も歴史と経験のある試験です。テストは、準4級(初級)~1級(上級)があり、リスニング、筆記の順に行われます。またリスニング、筆記ともに合格基準に達しないと合格になりません。

【問い合わせ先】 一般財団法人日本中国語検定協会
TEL:03-5211-5881
E-mail:info@chuken.gr.jp
URL:<http://www.chuken.gr.jp/>

城西大学海外教育プログラム
〈長期留学ガイドブック 2017〉

JEAP 2017

Josai Education Abroad Program

〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1(清光会館4階) 城西大学国際教育センター

Tel : 049-271-7887

E-mail : jeap@stf.josai.ac.jp

<http://www.josai.ac.jp/studyabroad>